

## みんなで学ぼう

寒さの中にも少しずつ春の気配を感じるようになってきましたが、私たちの暮らしも、季節が巡るなかでさまざまな出来事を経ていきます。こうしたなかで、結婚、住宅購入、子供の進学などは人生における「ビッグイベント」と言えますが、これらにはお金がつきものです。また、老後の暮らしに備えてどの程度資金を用意しておくべきか、じっくり考える必要も生じるかもしれません。

私たちの暮らしを取り巻く金融環境は、金融商品やサービスの多様化など、大きく変化しています。自己責任がこれまで以上に求められる中、一人一人が暮らしに関連する金融や経済に関する情報を自ら積極的に習得していくことが、ますます大切になっています。

金融広報中央委員会では、「暮らしと金融」なんでもデータ」により、暮らしと金融、生活設計に関するデータを幅広く提供しています。①生活設計や家計管理に関する分野——家計の収支、金融商品の保有額や住宅ローン負担額など。②仕事や教育に関する分野——生涯賃金や年間休日数、大学生の生活費など。③消費生活や金融トラブル防止に関する分野——消費生活センターに寄せられた相談件数、金融トラブルの経験など。④金融や経済のしくみに関する分野——国内総生産の推移や金融指標の国際比較など。

このようなデータは、学習だけでなく具体的なマネープランを立てる際にも極めて有用です。賢い消費者として、自立し豊かでゆとりある生活を実現するために、「暮らしと金融」なんでもデータ」をご活用いただければ幸いです。